

自分の番

いのちのバトン

父と母で二人

父と母の両親で四人

そのまた両親で八人

こうして数えてゆくと

十代前で、千二十四人

二十代前では・・・？

なんと、百万人を超すんです

過去無量の

いのちのバトンを

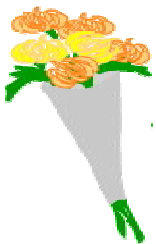
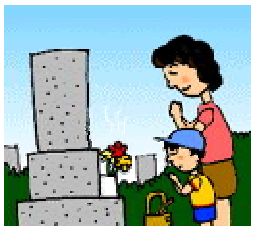
受けついで

いま、これから

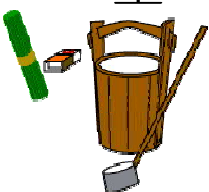
自分の番を生きている

それがあなたのいのちです

それがわたしのいのちです



先月は、春のお彼岸という事で、お墓参りをされた方も多いと思います。私も出かけたのですが、私はお墓参りに行って、祖父母や先祖に手を合わせる時、よく大好きなスポーツの駅伝を思い出しながら手を合わせる事があります。



先祖が、頑張って投げ出さずに、それぞれの距離（寿命）を、いろんな厳しい状況などもあった中、命のバトン（たすき）をつなげてくれたお陰で、自分が今、生きている（生かされている）

そして、今、まさしく自分の番で自分の与えられた距離（寿命）を走っているんだとイメージしながら感謝を伝えながら頑張って走るから見て下さい！と伝える事になっています！

「お墓参り」は心を穏やかに、心洗われる気持ちになると言います。

先日のお彼岸の墓参りに、行けなかった方は是非、時間がある時に出かけられる事をおすすめします。

P.S.

この「詩」でいって、私の数代前までさかのぼると、皆様とは親類だった可能性が高いと思われますので、どうぞ今後共よろしくお願いします。

私も皆様から「親戚」と思って信頼される「薬屋」を目指して頑張ります！

